

5. 流れない水はどうなるの？ ②

一 蒸発する

(1) 流れる、しみこむ、もう一つ

例えば洗たく物^ほ。干しておけば、水気がなくなっ
てかわきます。

例えばアスファルトの上にできた水たまり。いつ
の間にかかわいて消えています。

このように水は蒸発して、目に見えない形＝気体
になります。こうした水を「水蒸気」といいます。

温度が高いほうが、また空気がかわいている方が、
水は蒸発しやすくなります。

多い少ないは別にして、たまった水でも流れてい
る水や海にある水でも、いつも蒸発しつづけていま
す。



ストーブの上に置かれた蒸発皿。気をつけていないと、中の水がなくな
ってしまう。

(2) ふたたび「水」になる水蒸気

空気には、こうした水蒸気が混ざっています。

ただ、空気の温度が下がると、ふくむことが
できる水蒸気の量が減るため、余った水蒸気は
水をつぶにもどってしまいます。お湯から立ち
のぼる湯気も、こうした細かい水つぶの集まり
です。

水蒸気をたくさんふくんだ（しめった）空気
が、高い空に上ったり、冷たい空気の固まりと
ぶつかったりして冷やされると、細かい水つぶ
の集まりができます。

これが雲（や霧）になり、雨や雪になります。



(上)やかんの熱い水蒸気が、部屋の空気に冷やされてできる湯気。(下)しめった
空気が高い空の冷気に冷やされてできる雲。どちらも細かい水つぶの集まり。

川で行われた大きな工事

川にしながらる
ふだんの暮らし

川につながる農業

川につながる漁業や工業

付録

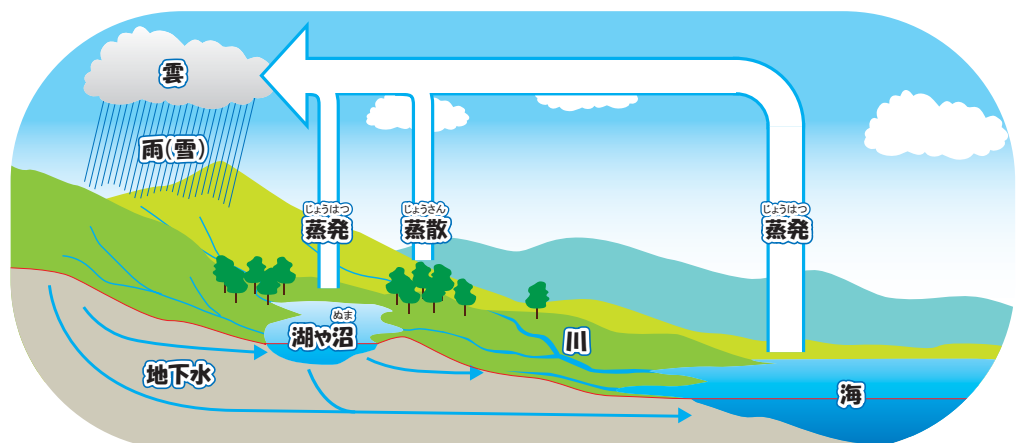
水の輪 - 水の移り変わりがもたらす絶えない流れ

降った雨は、しみこみ、流れ、そして蒸発し、雲となり、
そしてまた雨となります。

川や湖の水はいつもそこにあるようですが、こうして移

動しながら形を変え、世界的な広さで回っているのです。

こうした水の移り変わりが、雨や川の流れといった水の
めぐみをつくりだしています。



水の移り変わりのイメージ。
実際には遠くの海で蒸発した
水が雲となってやってきて、
雨を降らすことが多い。

※2 蒸発(じょうはつ)：液体の表面から、液体が気体になること。
※3 水蒸気(すいじょうき)：気体の状態となっている水のこと。また、一般的には空気中
で細かい水滴(すいてき)となったものも指す。ここでは前者の意味。

※4 ふくむことができる水蒸気の量(すいじょうきのりょう)：空気がふくむことのできる
水蒸気の量には限度がある。その限度の量を「飽和(ほうわ)水蒸気量」といい、温度に
よって変わる。30℃の空気は、5℃の空気のおよそ4.5倍の水蒸気をふくむことができる。